

エーアイエイチ 人工授精（AIH）の説明書

予約について

受付にて医師が指示した実施日の時間予約をお取りください。

8：30 ～ 10：45 および 14：00 ～ 15：00 30分ごとの受付時間です

- ・受付では予約対応のみとなります。実施日の変更やご質問は医師にご相談ください。
- ・キャンセルや予約時間の変更は早めにご連絡ください。
- ・お渡しした採取容器は採取直前まで開封しないでください。

実施日について

持ち物

- ご夫婦それぞれの診察券および保険証 基礎体温表 ナプキンを付けたショーツ 採取した検体
- 料金 総額約 10,000 円（院外処方のため薬代等が別途発生）

精液採取

禁欲期間：1～2日間を推奨しています。

採取方法：コンドーム等は使用せず、お渡しした採取容器に直接採取してください。

容器記名：図1のように、採取容器の蓋と側面への記名が必要です。

記名がない場合は人工授精の実施をお断りさせていただきます。

持参方法：採取容器を室温（約 25℃）程度に保ちつつ持参してください。

気温が低い日は採取容器をスリーブやポケット等に入れて保温してください。

採取後は2時間以内に持参していただくと理想的です。



図1



図2

当日の流れ

- ① 受付：予約時間までに受付を済ませ、お呼びするまで待合室でお待ちください。
- ② 提出：胚培養士が別室へご案内します。ご本人確認ののち採取容器をご提出ください。
- ③ 記名：図2のように、検体処理に用いる試験管の蓋と側面に記名していただけます。
- ④ 確認：採取容器から試験管へ検体を移し替える操作の確認、サインをいただけます。
- ⑤ 処理：検体の処理を行います。お呼びするまで待合室でお待ちください。
- ⑥ 確認：内診室へお呼びします。お見せする試験管がご自身のものか確認、サインをいただけます。
- ⑦ 注入：図3のように、カテーテルを用いて処理後検体を子宮内に注入します。
- ⑧ 安静：注入後はベッドへ移動して20分間の安静となります。
- ⑨ 注射：排卵を確実にするためにホルモン（HCG）の注射をします。
前日に実施している場合は不要です。
- ⑩ 会計：会計時に次回の診察予約（2日または3日後）をお取りください。
- ⑪ 薬局：内服薬（抗生物質）の処方箋が出ています。お近くの薬局へお立ち寄りください。

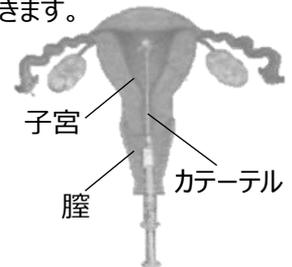


図3

精子凍結について

精液を持参できない場合、事前に精子凍結を行い、凍結精子を用いた人工授精を行うことが可能です。ただし、精子凍結を行う場合は遅くとも凍結を行いたい日の1週間前までには予約が必要となります。ご希望される場合はお早めにスタッフにご相談ください。なお、精子凍結に要する費用は男性側に発生し、税込 22,000 円（保険適用外）です。

諸注意

- ・キャンセルや予約時間の変更はお早めにご連絡ください。
- ・当院には採精室がありません。精液採取には自宅をご利用ください。
- ・採取した精液はホッカイロ等で過熱しないでください。精子が死んでしまって妊娠できません。
- ・検体提出後の待ち時間では外出も可能です。戻られた際は受付にお声かけください。
- ・診察状況により長時間お待たせする可能性があります。ご了承ください。
- ・人工授精実施後の診察日から2週間経過しても生理が始まらない場合は妊娠の可能性があるため受診してください。残念ながら生理が始まってしまった場合は生理開始から5日以内に受診してください。
- ・市販の妊娠検査薬を用いて妊娠判定を行い、陽性となったために産科を受診する方がいます。人工授精による妊娠は妊娠後の対応が自然妊娠と異なります。適切な対応を行うためにも妊娠判定陽性後は当院を受診してください。

人工授精について、その適応と具体的な方法

排卵のタイミングに合わせ、子宮内に処理済みの精液を直接注入する方法です。精液処理は、培養液に採取した精液を重層して遠心分離を行います。これにより精液中から細菌などが除去され、運動良好精子のみを回収することができます。軽度の乏精子症や精子無力症、性交障害、射精障害、ヒューナーテスト不良の場合などで適応になりますが、卵管閉鎖や卵管切除などの卵管原因の不妊症には効果がありません。

治療成績

QRコードからご参照ください。

人工授精について



治療成績



Q&A



安全性

精液処理による精子へのダメージはほとんどないと考えられていますが、100%安全であるという保障はありません。

主な合併症・副作用・リスクとその対応

精液中の成分によって子宮に炎症を起こす場合がありますが、内服薬により改善できます。また、男性側の性感染症が精液を介して女性側に感染する可能性が、自然妊娠と同程度あると言われています。

代替的治療法

人工授精が奏功しない場合には生殖補助医療へステップアップすることができます。

料金について

治療費は原則保険適用ですが、保険適用ではない薬剤の使用等を希望する場合は自費負担となります。

カウンセリングの機会およびセカンドオピニオン

ご希望の方は医師や生殖医療相談士によるカウンセリングを受けることが可能です。また他医にてセカンドオピニオンを受けることも可能です。

個人情報保護法

当院の治療成績を学会や論文にて報告する場合や、当院ホームページ上に公開する場合があります。その際には個人情報保護法に則って適切に情報を使用します。予めご理解、ご了承ください。